

# ネイチャークラブ会報

SINCE 1996



JREU



第 199 号

発行日：2024年6月26日

発行責任者：西垣 栄義



## 盛岡地本ネイチャークラブ主催 2024 山菜まつり開催！！



5月18日、盛岡地本ネイチャークラブ主催「2024山菜まつり」がJR東労組盛岡地本こぶし会館にて開催されました。

当日は、本部ネイチャークラブ内藤事務長、高杉幹事の他に秋田、横浜地本の仲間も参加頂きました。

冒頭、盛岡地本昆野書記長より「24春闘、夏季手当総括、組織拡大、会社の安全・職場問題等」搔い摘んで報告・提起して頂きました。

毎年のことですが、山菜は自然環境に大きく影響されます。今年は雪も少なく日取りの設定に苦慮しましたが、例年収穫時期が早まっていることを考え、今年は一週間ほど早めての開催で、参加を楽しみにしながらも、残念ながら参加できなかった人もいたと聞いています。

開催告知を早めに行い、多くの仲間でサークルの「横の糸」「仲間の絆」を大切にしていける活動を今後も継続していきます。10月末には「24秋の山菜まつり」予定しています。詳しくは後日告知を行ないますので、多くの参加をお待ちしています。【次のページへつづく】

今山菜まつり開催にあたり、まつり当日に参加できなかったものの前日までの収穫作業等に多くの方々にご協力を頂きました。今年もクマ被害やケガ人にもなくまつりを成功裏に終わることができたことに、全てのご協力を頂いた皆さんへ感謝申し上げます。ありがとうございました。

盛岡地本ネイチャークラブ部長 佐々木勝美

## 2024山菜まつり 山菜収穫編

一日目は小雨の降る中、二人きりで二時間程、十分な量のわらびを採り、あく抜きのため一晩浸け置きに。二日目は悪天候にも関わらず、早朝に10名の仲間が集まり、雨でぬかるみ滑る急斜面の竹藪を掻き分けて縦列進行し、スポットに着くと、熊避けと遭難対策をして散開し地を這うようにタケノコを求め、明日の参加者の笑顔の為に力をだし、十分な量を確保しました。採り終わって車に着くとビショビショの合羽を脱ぎ、寒さに震え地本に帰宅。すぐさまタケノコの皮むき大会を開始。なお岩崎隊長が別動隊を編成し、ミズ、フキを採りに再出発。すべての皮むき、あく抜きが終わったのは夕方でした。皆の笑顔の為に尽力した10名の戦士とお手伝いいただいた地本の仲間の協力に感謝いたします。

盛岡地本ネイチャークラブ事務長 角掛寛幸



# 大宮地本ネイチャークラブ 第15回総会・第17回例会 開催しました。

～テーマ～

「地域の水質と気候の恵みを活かした  
食を学び、自然環境を守り抜こう！」



6月5日に埼玉県比企郡小川町にある晴雲酒造で大宮地本ネイチャークラブ第15回総会・第17回例会を開催しました。

当日は総会・例会含めて10名の参加者で晴雲酒造の仕込蔵を杜氏の説明を受けて見学を行いました。今回の例会テーマ「地域の水質と気候の恵みを活かした食を学び、自然環境を守り抜こう！」として、小川盆地特有の水質と気候の良さを活かした酒造りが行われている事を学びました。

この酒造りに適した自然環境と恵まれた地域環境を維持していくため、人間の生活環境を一人ひとりが見直していかなければいけないと感じました。

最近の気候変動が続き自然環境の悪化が続けば、今あるおいしいお酒や食べ物もなくなってしまうという危機感を持って行動しようと思いました。

そして、総会の中でネイチャークラブに興味を持ってもらえる取り組みを計画して、参加者と共にネイチャー活動の必要性を広めていくことを確認しました。

大宮地本ネイチャークラブ副部長 内藤宜成

杜氏から説明を受ける



玄米から精米されたお米



お酒の試飲ができました



交流会(東松山駅付近のお店にて)



お酒の貯蔵タンク



## 大宮地本ネイチャークラブ

### 新役員体制

部長：森成 芳宏

副部長：内藤 宜成

事務長：西垣 栄義